

## 「子どもたちの命を守り、いじめを許さない社会をつくる宣言」

子どもたちの命は、かけがえのないものです。子どもたちの命が、いじめによって傷つけられることは、重大な人権侵害であり、決して許されないことです。子どもたちには、いじめのない安全で安心な学校や、家庭、地域社会のなかで、学び、遊び、友だちと過ごす大切な時間が保障されなければなりません。

しかし、いじめは、すべての学校、すべての子どもたちに起こる可能性があります。岩手の宝である子どもたちが、いじめにより、人を傷つけたり、人に傷つけられたりすることで、夢や希望を失い、自ら命を傷つけるようなことは、決してあってはなりません。

この岩手のすべての人々が、いじめを自分たちの問題としてとらえることが必要です。岩手の子どもたちの心の中に、自他の命を尊重する優しさを育てるため、今こそ、子どもたちと大人たちが力を合わせる時です。

子どもたちの命を守り、いじめを許さない社会をつくるために、「いわて教育の日」制定の10周年にあたり、私たちは宣言します。

- 自他の命の大切さを伝え続け、かけがえのない命を守ります。
- 一人一人の良さを互いに認め、他者を思いやる心を育みます。
- 辛く苦しんでいる人に声をかけ、思いを深く受け止めます。
- 嫌がることをしてはいけなときっぱり言う強い心を持ちます。
- いじめられた子どもの心とからだを、みんなの力で守りぬきます。
- いじめをした子どもには、二度と同じ過ちを繰り返させません。
- 子どもは正しい行動をする勇気を持ち、大人は模範となる行動をします。

平成27年11月26日